

佐賀県の地震活動概況（2024 年 8 月）

令和 6 年 9 月 11 日
佐賀地方気象台

【8 月の地震活動概況】

8 月に佐賀県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回（下図領域外）でした（7 月は 1 回）。

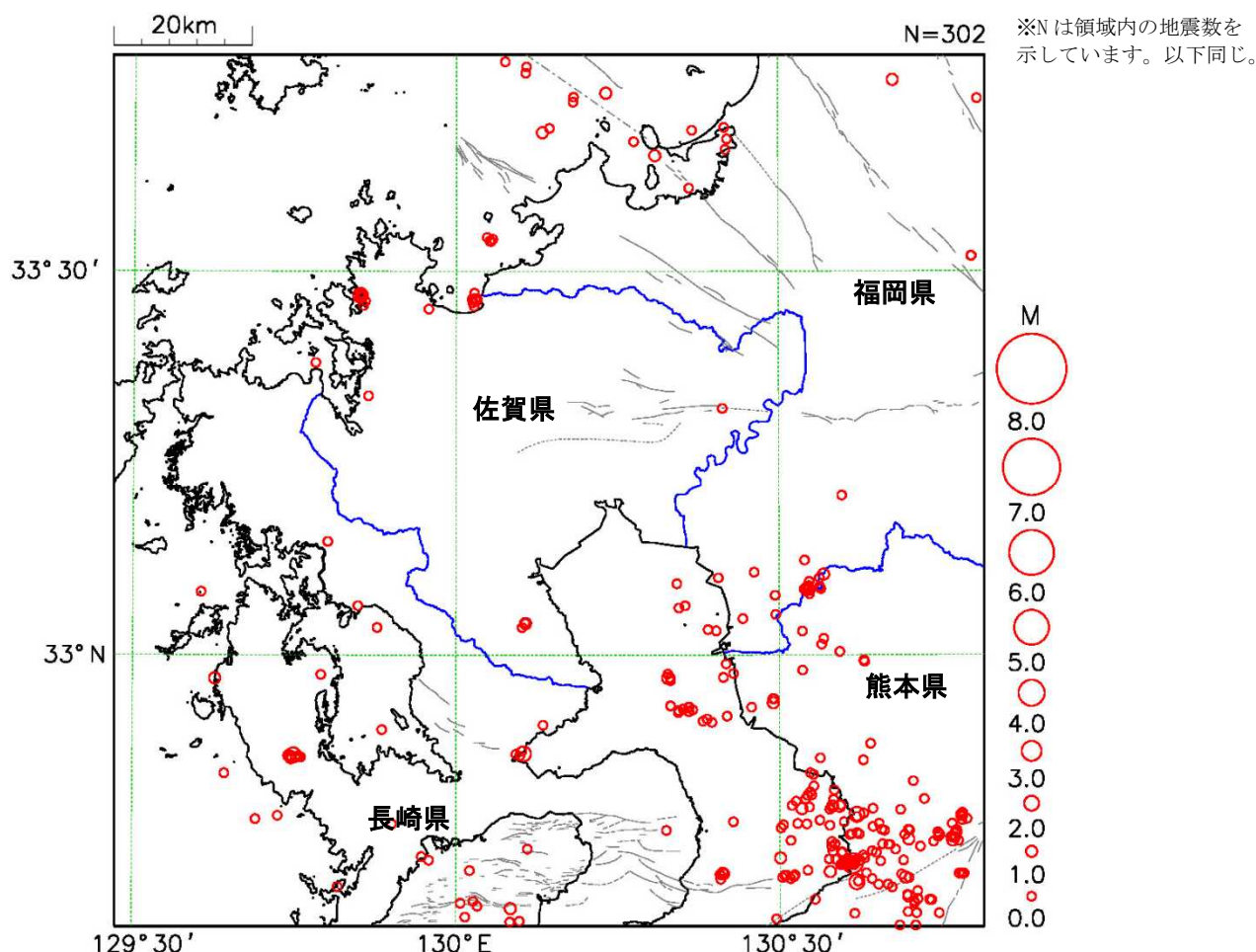


図 1 震央分布図（2024 年 8 月 1 日～31 日、深さ 30km 以浅、M≥0.0）
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

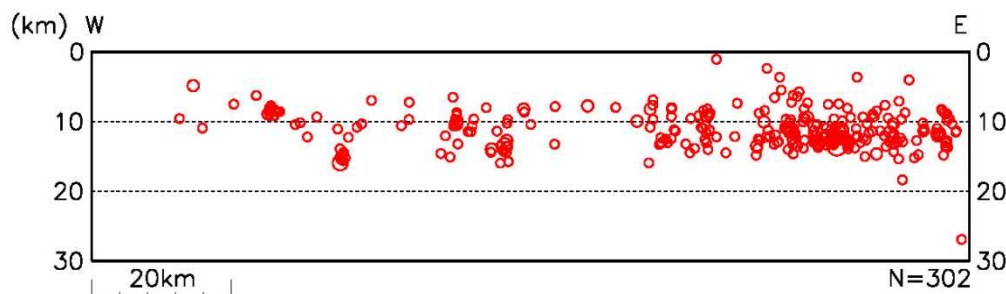


図 2 断面図（2024 年 8 月 1 日～31 日、深さ 30km 以浅）
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

日向灘（1 頁震央分布図領域外）

08 日 16 時 42 分に日向灘で M7.1 の地震（深さ 31km）が発生し、宮崎県日南市で震度 6 弱を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、東海地方で震度 5 強～1 を観測しました。佐賀県では、佐賀市、神埼市、白石町で震度 4 を観測したほか、小城市、上峰町、江北町などで震度 3～1 を観測しました（図 3、表 1）。

09 日 04 時 23 分に日向灘で M5.4 の地震（深さ 26km）が発生し、宮崎県の宮崎市、日南市、串間市などで震度 3 を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、神埼市で震度 2 を観測したほか、佐賀市、小城市などで震度 1 を観測しました（図 4、表 1）。

11 日 07 時 42 分に日向灘で M4.5 の地震（深さ 32km）が発生し、宮崎県宮崎市で震度 3 を観測したほか、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、上峰町で震度 1 を観測しました（図 5、表 1）。

31 日 22 時 04 分に日向灘で M4.7 の地震（深さ 28km）が発生し、宮崎県宮崎市で震度 3 を観測したほか、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、佐賀市、神埼市、上峰町で震度 1 を観測しました（図 6、表 1）。

今回の地震の震源付近（図 7 領域 a）では、1996 年 10 月 19 日に M6.9 の地震（深さ 34km、最大震度 5 弱）が発生し、佐賀県では、佐賀市で震度 3 を観測したほか、嬉野市などで震度 2～1 を観測しました（図 7～図 9）。

気象庁では、8 日 17 時 00 分にこの地震が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始したことをお知らせする南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表し、8 日 17 時 30 分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討を行いました。その結果、この地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8 日 19 時 15 分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。

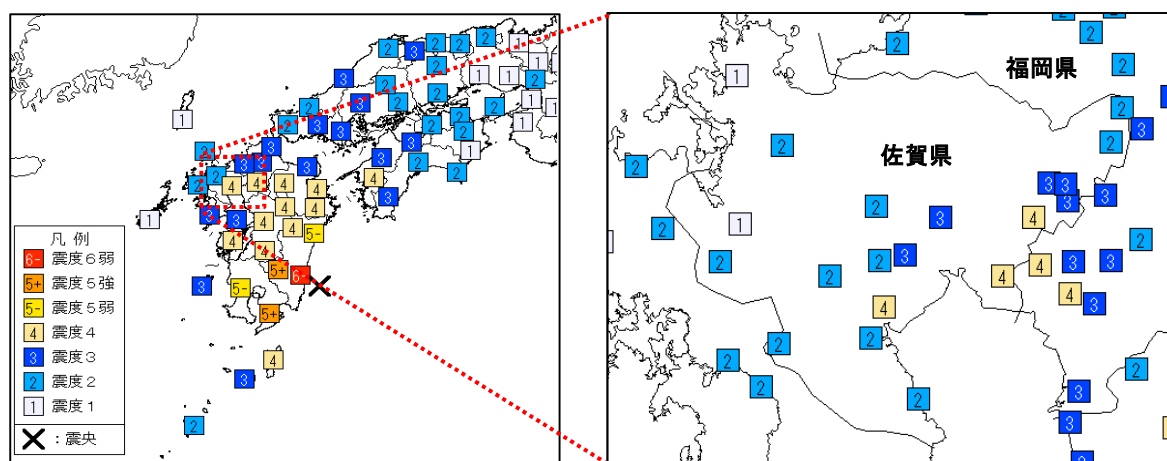


図 3 震度分布図 08 日 16 時 42 分 M7.1
(左図は地域別、右図は市区町村別)

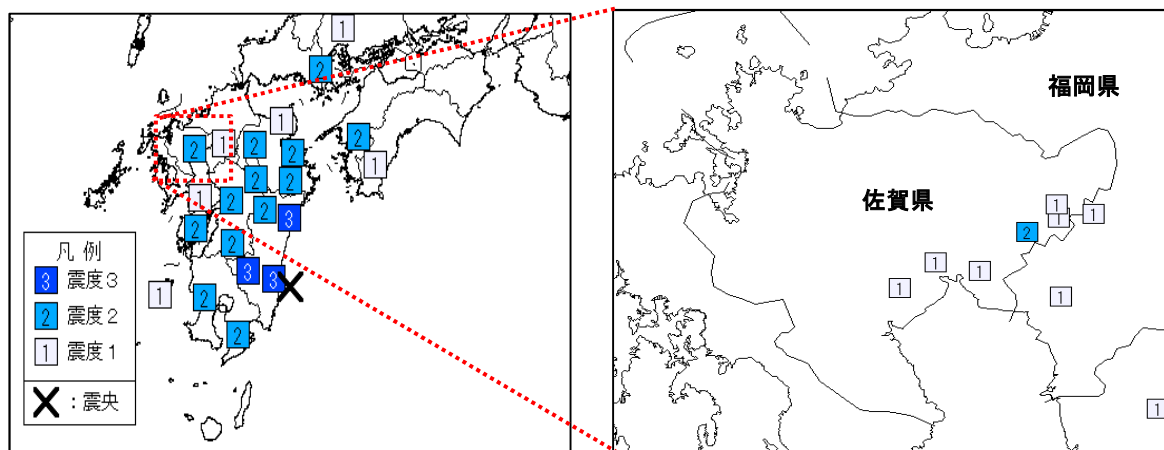


図4 震度分布図 09日04時23分 M5.4
(左図は地域別、右図は市区町村別)

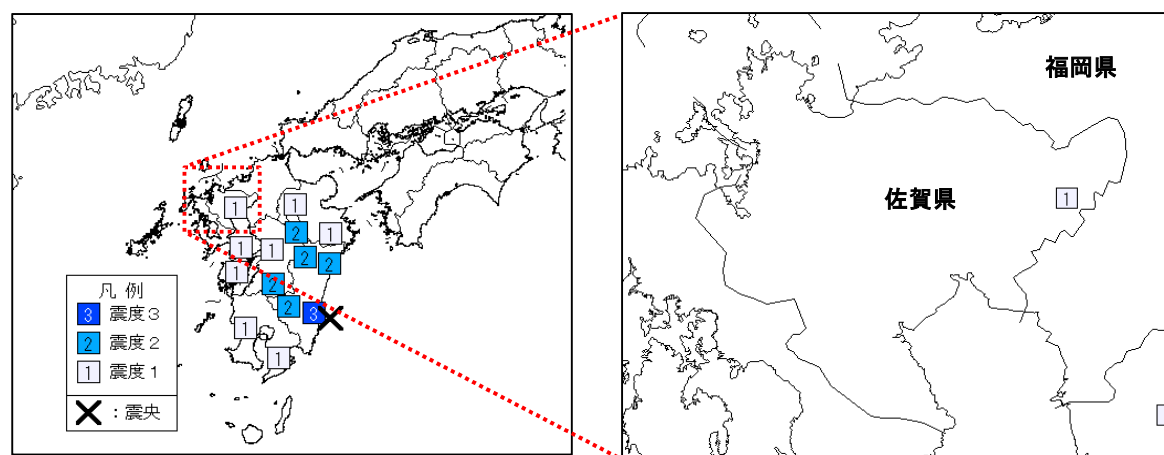


図5 震度分布図 11日07時42分 M4.5
(左図は地域別、右図は市区町村別)

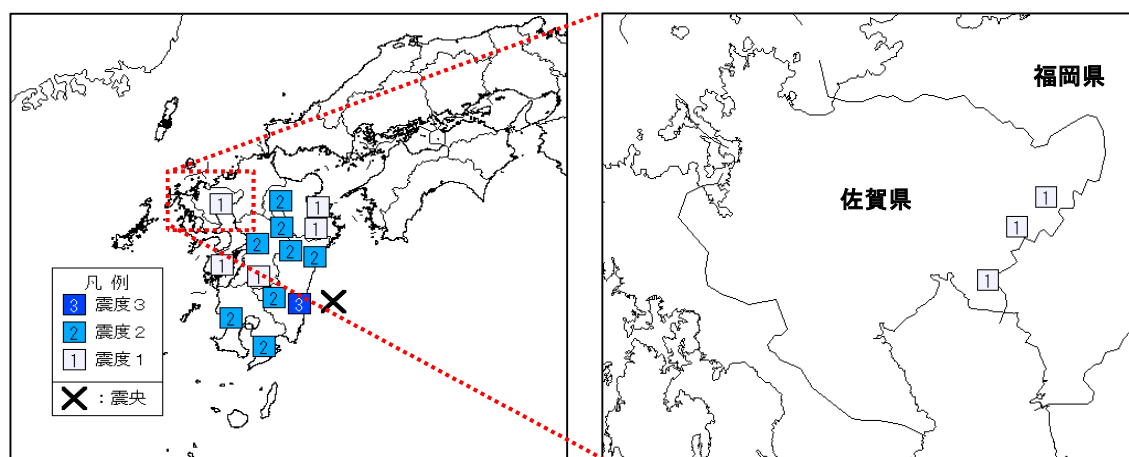


図6 震度分布図 31日22時04分 M4.7
(左図は地域別、右図は市区町村別)

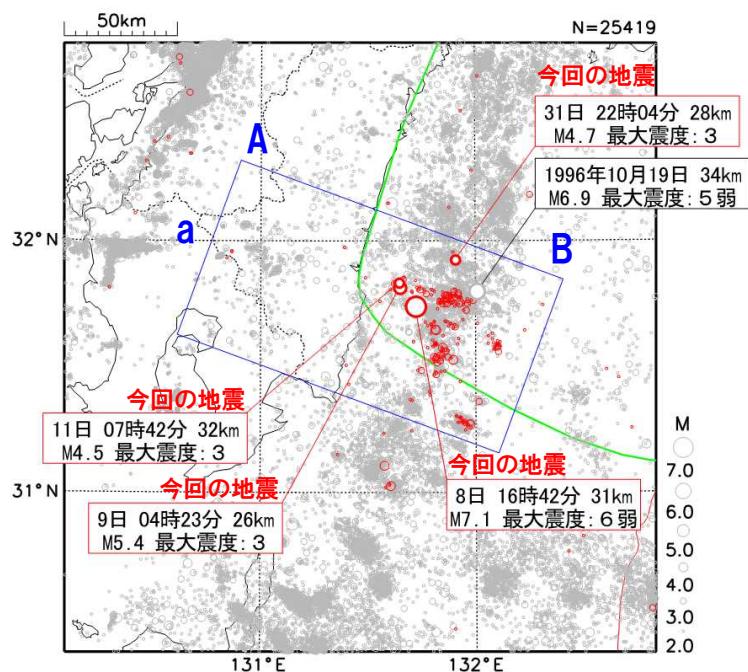


図7 震央分布図

(1994年10月1日～2024年8月31日、

深さ0～100km $M \geq 2.0$)

※2024年8月1日以降の地震を赤色で表示

※緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示します。

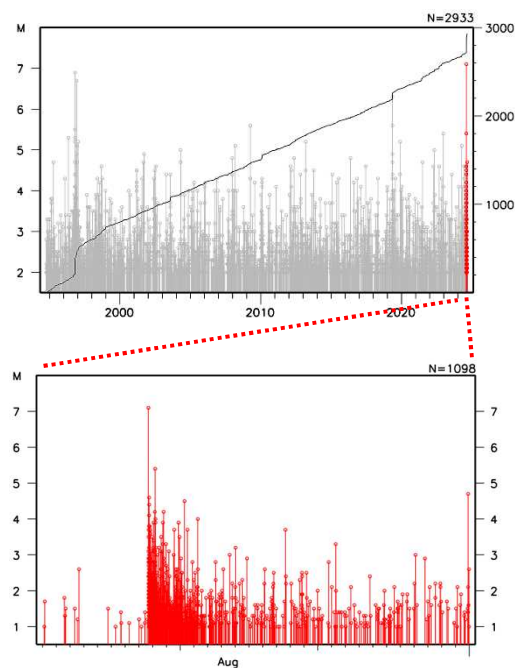


図9 図8領域bの地震活動経過図

および回数積算図

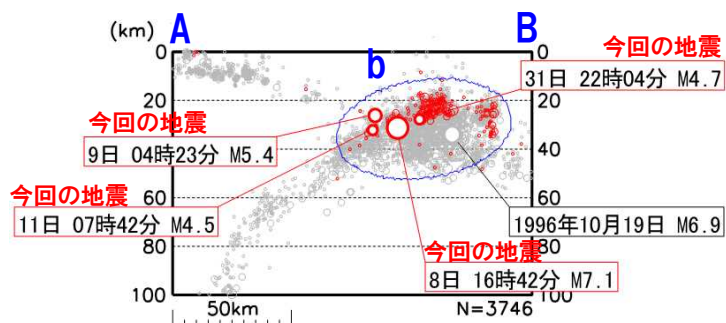
上段：1994年10月1日～2024年8月31日、 $M \geq 2.0$ 下段：2024年8月1日～2024年8月31日、 $M \geq 1.0$ (下段は $M \geq 1.0$ 地震活動経過図のみ)

図8 図7領域a内の断面図 (A-B投影)

表 1 佐賀県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震 (2024 年 8 月 1 日～31 日)

地震発生日時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2024 年 08 月 08 日 16 時 42 分	日向灘	31° 44.2' N	131° 43.3' E	31km	M7.1
佐賀県	震度 4 : 佐賀市川副＊, 白石町有明＊, 神崎市千代田＊ 震度 3 : 佐賀市駅前中央, 佐賀市栄町＊, 佐賀市大和＊, 佐賀市東与賀＊, 佐賀市久保田＊, 佐賀市諸富＊, 上峰町坊所＊, 江北町山口＊, 白石町福田＊, 白石町福富＊, みやき町三根＊, みやき町北茂安＊, 小城市三日月＊, 小城市芦刈＊, 小城市牛津＊, 吉野ヶ里町三田川＊, 神崎市神埼＊ 震度 2 : 唐津市北波多＊, 唐津市肥前＊, 唐津市呼子＊, 唐津市浜玉＊, 有田町立部＊, 佐賀市三瀬＊, 鳥栖市宿町＊, 多久市北多久町＊, 武雄市武雄町武雄＊, 武雄市山内＊, 武雄市武雄町昭和＊, 武雄市北方＊, 佐賀鹿島市納富分＊, 基山町宮浦＊, 大町町大町＊, 太良町多良, みやき町中原＊, 小城市小城＊, 嬉野市不動山, 嬉野市塩田＊, 嬉野市下宿乙＊ 震度 1 : 唐津市西城内, 唐津市鎮西町＊, 唐津市竹木場＊, 唐津市七山＊, 唐津市相知＊, 伊万里市立花町＊, 玄海町諸浦＊, 有田町本町＊, 佐賀市富士町＊, 吉野ヶ里町東脊振＊, 神崎市脊振＊				
2024 年 08 月 09 日 04 時 23 分	日向灘	31° 48.7' N	131° 38.9' E	26km	M5.4
佐賀県	震度 2 : 神崎市千代田＊ 震度 1 : 佐賀市東与賀＊, 佐賀市久保田＊, 佐賀市川副＊, 上峰町坊所＊, 白石町福田＊, 白石町福富＊, 白石町有明＊, みやき町三根＊, みやき町北茂安＊, 小城市芦刈＊				
2024 年 08 月 11 日 07 時 42 分	日向灘	31° 49.9' N	131° 38.7' E	32km	M4.5
佐賀県	震度 1 : 上峰町坊所＊				
2024 年 08 月 31 日 22 時 04 分	日向灘	31° 55.4' N	131° 54.4' E	28km	M4.7
佐賀県	震度 1 : 佐賀市川副＊, 上峰町坊所＊, 神崎市千代田＊				

- ・「＊」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

「南海トラフ地震臨時情報」について

解 説 資 料
佐賀地方気象台

8月8日 16 時 42 分に日向灘で M7.1 の地震が発生しました。気象庁では、8日 17 時 00 分にこの地震が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始したことをお知らせする南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表し、8日 17 時 30 分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討を行いました。その結果、この地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8日 19 時 15 分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。政府では発表に伴い、「特別な注意の呼びかけ」を8月 15 日 17 時まで行いました。

南海トラフ地震臨時情報は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合や、調査を継続している場合、または、観測された異常な現象の調査結果をお知らせする場合に発表する情報です。

ただし、南海トラフ地震臨時情報は南海トラフ地震の発生時期や場所・規模を確度高く予測したものではなく、情報が発表されても大規模地震が発生しない場合や、情報の発表がないまま突発的に南海トラフ地震が発生する場合も考えられます。このため、南海トラフ地震に適切に備えるためには、家具や設備の固定、避難場所・避難経路の確認などの「日頃からの地震への備え」をしておくことが重要です。

自らの命、大切な人の命を守るために、地震への備えについて家族みんなで再確認しましょう。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時の 1 週間の事前避難が終了してからの対応、または、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表後の対応

通常の生活を送りながら、次の地震に向けた備えを再度確認しましょう。

揺れを感じたら直ぐに避難できる態勢の準備と身の安全の確保

- すぐに避難できる態勢での就寝
- 非常持出袋の常時携帯
- 緊急情報の取得体制の確保
- 屋内のできるだけ安全な場所での生活
- 危険なところにできるだけ近づかない

枕元に靴等を置いて寝る

いつでも聞こえるよう音量を大きくする

ブロック壁やガラスの多い場所

SNS ホームページ ニュース サイト インターネット ラジオ

日頃からの地震への備えの再確認

- 避難場所・避難経路の確認
- 家具の固定の確認
- 家族との安否確認手段の確認
- 非常持出品の確認など

避難所？ 高台の公園？ 中学校？ 小学校？

ベルト式

ガラス飛散防止フィルム

滑り止めシート

SNS・メール・電話・災害伝言ダイヤル

171

1 2

決めておいた番号

「171」に電話をかけて、伝言を残すときはさらに「1」を、伝言を聞くときは「2」をおし、自分の家の電話番号など、家族で決めておいた番号をおすと使えます。

モバイルバッテリーは充電されているか？

懐中電灯の電池は切れていないか？

非常食の賞味期限は切れていないか？

南海トラフ地震に関することは、以下の気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/nteq/nteq.html>

i 南海トラフ地震 臨時情報

キーワード

調査中

巨大地震警戒

巨大地震注意

調査終了

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合

- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

i 南海トラフ地震 関連解説情報

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

地震発生後の防災対応の流れ

